

議 事 録

(会議名：地域連携推進会議)

日 時	令和7年 2月 27日(木) 10：00 ～ 11：15	場所	談話室
出席者	下山施設長、虹の家ご利用者S様、虹の家保護者会会長N様 相模原市南高齢・障害者相談課M様、麻溝地区民生委員児童委員協議会K様 相模原市社会福祉協議会K様、相模原市福祉基盤課（業務都合の為不参加） 大下自治会会長（所用により不参加） 佐藤課長（虹の家）、小泉（虹の家 相談員）		
議 題	1：出席者紹介 2：施設見学 3：相模福祉村虹の家の取り組みについて 4：非常災害時の取り組みと地域との連携 5：地域情報の共有 6：質疑応答		
○議題を進める前に、地域連携推進会議を開催するにあたっての趣旨・目的について説明する。			
【出席者紹介】出席者の方一人ひとり自己紹介した後、ご挨拶を頂く。			
下山施設長、虹の家ご利用者S様、虹の家保護者会N会長			
相模原市南高齢・障害者相談課M様、麻溝地区民生委員児童委員協議会K様			
相模原市社会福祉協議会K様、虹の家 支援課佐藤課長、虹の家相談室 小泉相談員			
【施設見学】			
虹の家、施設内を見学。			
【相模福祉村 虹の家の取り組みについて】			
下山施設長より別紙の資料を基に説明がある。			
虹の家の取り組みとして、ご家族・地域の方々にも施設内を見て頂きながら、クリーンな施設を目指している。現在は特に権利擁護に対しての取り組み、ご利用者の意思決定支援の取り組みに対して強く取り組んでいる状況である。			
【非常災害時の取り組みと地域との連携】			
虹の家では現在、年間通して1回/2カ月の頻度で、非常災害時に備えて訓練をしている。今までは内部の視点より課題等を確認しながら実施しているが、今後は地域の皆様と共に訓練を実施し、地域の皆様からの視点も取り入れていきながら非常災害時に備えていきたいと思っている（怪我した時や通信手段等の訓練も実施出来ればと思っている）。			
→下山施設長より、今後南海トラフ地震が80%以内で起こると言われている。それを想定しながら次年度はリアル感を持った訓練と課題抽出が出来たら良いと思っている。			

議 事 録

(会議名：地域連携推進会議)

議 題

1：出席者紹介 2：施設見学 3：相模福祉村虹の家の取り組みについて
4：非常災害時の取り組みと地域との連携 5：地域情報の共有 6：質疑応答

【地域情報の共有】

- ・虹の家では、今週末に開催される“麻溝公民館祭り”に参加する（たこ焼きを出店予定）。
- ・今年の1月より、麻溝地区地域づくり部会主催のもと、虹の家も麻溝地区の高齢者の買い物支援に協力させて頂いている。

【質疑応答】

施設見学し、率直に介護をする人達は大変だと思った。毎週火曜日・木曜日の朝に地区の清掃を行って下さり感謝している。日頃散策されている方々（ご利用者）を見かける事がある。その時は飛び出しがあったら…と思う事もある為、減速して対応している。散策に出かける人は飛び出しをしない人達であるのか？→虹の家では支援者1名・ご利用者4名の体制で対応している。様々な特

性のご利用者の方がいるため、個々の特性等に配慮しながら対応しています。

虹の家を利用されている方は、どのような障害の方なのか？→知的障害、身体障害、精神障害の方がいます。

散策はどれくらいの頻度で取り組んでいるのか？→ほぼ毎日取り組んでいます。

お便り（福祉村だより）を配っている様子も見かけたことがあります。

通所されている方は相模原市内在住の方だけなのか？→殆どは相模原市内在住の方であるが、座間市在住の方も通所されています。

大下地区には一人暮らし高齢者の方が増えてきています。

個々に合わせた配慮がされていると感じた。職員の方々が挨拶をして下さり、気持ち良い場所であると感じた。他のケースワーカーにも虹の家の見学をしてほしいと思いました。

議 事 録

(会議名：地域連携推進会議)

議 題

1：出席者紹介 2：施設見学 3：相模福祉村虹の家の取り組みについて
4：非常災害時の取り組みと地域との連携 5：地域情報の共有 6：質疑応答

法人理念にあるように、職員の皆さまが立ち止まって挨拶して下さり、気持ちが良いと感じた。

虹の家の職員は何名ほどいるのですか？→全職員で90名ほどいます。

娘が2日/週デイで利用しています。他3日/週は別の事業所を利用していますが、娘なりに今自分が

何をするのか…を感じ取っている様子。大人数・少人数の場所での過ごし方も娘は分かっている。

大切な事を一日に一つずつでも娘なりに学んでくれたらと思いながら生活を送っている。

部屋の入口にある自主製品を見て下さい。私達が作りました。虹の家では楽しく生活しています。

・大下地区でも一人暮らしの高齢者が増えてきている。施設として出来る事や（自宅の落ち葉を拾う等）、大下自治会の課題は何かを考えていきたいと思っている。

・相模はやぶさ学園と虹の家は連携しているの？

→研修、行事、防災、体育館を借りたりして連携をしている。

この会議が一度だけで終わるのでなく、年に1回以上、または半年に1回は継続して取り組み、

虹の家の取り組みやヒヤリハット、事故報告などを皆様に報告できればと思っている。